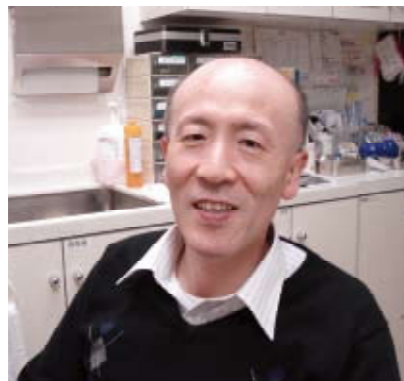


連携医院のご紹介

当院と連携して患者さんを診療している医療機関をご紹介します。今回は人工透析を中心としたクリニックを開業されて9年目になる星野外科 星野先生です。



星野外科

〒734-0004
広島市南区宇品神田1丁目4-9
電話/082-250-8621
院長/星野修司
診療科/外科、消化器科
胃腸科、泌尿器科
肛門科

○星野先生のポリシーを教えてください。

変な話ですが、借金も少し減り、なんとか経営できています。無理な経営はしたくない。職員とも経営者と労働者という関係ではなくフェアにやってきたつもりです。

今は、仲間の先生達と、リハビリもできる質の高い透析を行う入院施設をつくることに力を注いでいます。透析難民が出ないように、本当に困っている人の言い分をまじめに取り上げ、役割を持って何かしてあげることが大事だと思っています。

○県病院の印象を教えてください。

暖かい。「急性期病院なのにこんなに長く入院させていいのかな」と思うこともある。それはある意味、人を大切にしているという事ですね。職員は激務でしょうが、だから、がんばれるんですね。県病院は大切にしていかなければならない。働く人、患者さん、地域の人にとってそうだと思います。8年やっていて、「県病院は勘弁してくれ」と言う患者さんはいなかったですね。

【取材後記】

星野先生ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



さあ、元気に！
皆でリハビリ体操、1,2,3!!
(副院長(兼)脳神経外科主任部長 木矢克造)
※脳卒中広島友の会・ぴあチアーズ交流会より

ご案内

12月のがんサロン

- とき/12月20日(月) 14:00~15:30
- ところ/新東棟2階ラウンジ
- 内容/参加された方の交流会
※自由なお話の場です。近況や日ごろの悩みを話してみませんか。今回は、クリスマス会を予定しています。
- 問い合わせ先/
総合相談・がん相談室

クリスマスコンサート

- とき/12月24日(金) 14:30~15:30
- ところ/中央棟1階 中央玄関ホール
- 演奏者/プロテウスアンサンブル
広島市在住の女性演奏家により結成。当院で14年にわたり毎年2回、演奏をしていただいています。



外来診療のご案内

- 診療受付時間 午前8時30分~午前11時00分 ※午後の診察は科によって異なります。
- 休診日 土曜日・日曜日・祝祭日 年末年始(12月29日~1月3日)
- 紹介状持参のお願い 初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費のほか2,620円のお支払が必要となります。初診の際には、紹介状をお持ちください。

ワンポイント健康メモ -インフルエンザの対処法-

インフルエンザの流行は通常11月から12月に始まり、翌年の1月から3月頃に終息します。

○**新型インフルエンザと季節性インフルエンザ**
どちらもインフルエンザウイルスによる急性呼吸器感染症ですが、新型は、多くの人が免疫をもっていないため、毎年流行をくりかえす季節性インフルエンザとくらべると、感染が拡大しやすくなります。昨年の流行は記憶に新しいところです。

○インフルエンザを予防するために

- ・特に、重症化しやすい高齢者、慢性疾患の患者さんや小児は、流行前に予防接種を受ける。
- ・帰宅したらまず、手洗いとうがいをする。
- ・バランスの良い食事と、十分な休息をとる。
- ・室内の湿度は50~60%に保つ。

○インフルエンザにかかったら

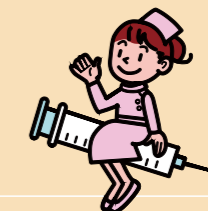
- ・早めに医療機関を受診する。
- ・水分(お茶やジュース、スポーツ飲料など)をしっかり摂る。

- ・安静にし、学校や仕事は熱が下がって2日経ってから復帰する。
- ・咳エチケットを守る。

※咳・くしゃみをする時は、ティッシュなどで口と鼻をおさえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れる。
※鼻汁・痰などが付着したティッシュは直ぐにゴミ箱に捨て、直接鼻汁・痰に触れた場合は手を洗う。
※咳が出るときはマスクをつける。

○今年の予防接種

今シーズンは、おおむね国民すべての方に接種できるワクチンが確保されており、昨年のような接種の優先順位はありません。重症になりやすい方も含めて、ワクチンにはインフルエンザの発症をある程度おさえる効果や、かかっても重症になるのを防ぐのに一定の効果期待できます。また、まわりの人に感染が広がるのをおさえる効果もあります。接種を希望される方は、お近くの医療機関へお問い合わせください。



診療科だより

第3回 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

福島主任部長に直撃インタビュー!!

県立広島病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科の特徴は何でしょうか?

「耳鼻咽喉科」ではなく「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」という名称なのは、耳鼻科領域の外科手術に特化した科であるということからです。そのため、内科的な治療は開業医の先生方をお願いし、当科では手術をどんどんやっていこうと思っています。ちなみに、当科の年間手術件数は非常に多く、約600件です。



福島主任部長

ところで福島先生の趣味は何ですか?

ゴルフですね。他にはライブに行くことです。劇団四季から浜田省吾まで幅広く行ってます。好みは、学生のとこで止まっています(笑)。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科のモットーを教えてください。

常に研鑽してレベルの高い医療をすることと、紹介医の先生方とのチームワークです。ご紹介いただいた患者さんは全力で治療しますし、耳鼻科開業医の先生方とは、折にふれて懇親を深めています。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科ではどんな手術をするのか教えてください。

平成19年を例にとると、中耳手術227件以外に、鼻・副鼻腔手術104件、いびきの手術を含む咽頭手術122件、声帯ポリープなどの喉頭微細手術26件、悪性腫瘍などの頸部手術67件などを行いました。

特に中耳炎に対する鼓室形成術症例数は全国第9位ですが、先生はどこで手術技術を習得されたのですか?

帝京大学やカナダ・トロント小児病院に留学して学びました。それ以外にも、時間を見つけてあちこちの病院に手術見学に行き、レベルアップするように心がけています。

福島先生から耳鼻咽喉科・頭頸部外科のスタッフを紹介してください。

平位先生は、診療科内のマネージメントも上手です。まだ当院に来て日が浅いですが、中下先生は、手術が上手です。久保田先生は真面目で牛乳好き、片桐先生も真面目な先生で結婚願望があります。

「ラストサムライ」のようなワイルドな風貌の福島先生ですが、当院で行われた鼓室形成術症例すべて(1,400症例以上)の手術記録、その後の聴力のデータなどをきれいにファイルしておられました。「手術の達人の陰には、たゆまぬ努力あり」ということですね。



後列左より 片桐、久保田
前列左より 中下、福島、平位

次回は、循環器内科に直撃インタビューします。

院内ふしぎ発見 球体のなぞ

皆さん、正面から駐車場に入るところにある球体は何だと思いませんか?

あれは、地下駐車場の排気口(排気トラス)を装飾するオブジェです。

球体は人体の細胞を表しています。球体の中に3枚の細長いカーテン様の白地に夜間にいろいろな色のライトをあてることにより、細胞の中を流れる血液やリンパ液を表現しているものです。

現在は、台風など影響をうけるため、カーテン様の白地が取り外されています。夜間のライトアップもされていませんが、このオブジェは県病院の正面玄関の顔として役立っています。



看護部だより お困りの方は、なんでもご相談ください 地域連携科

地域連携科では、医師、看護師、病診連携推進員、ソーシャルワーカー、心理職などの職員が、かかりつけの患者さんだけでなく、どなたでも、また、電話だけではなく、直接お会いし、お話を伺っています。

○総合相談・がん相談室

当院を利用される方の相談と、地域がん診療連携拠点病院として、がんに関する相談や情報提供を行っています。

○心理・社会相談室

「こんな質問してもいいのかな」ということは、ひょっとしたらとても大切なことかもしれません。福祉制度、転院など相談者が抱える不安や悩みを一緒に考えていきます。

○地域医療連携室

地域の診療所、病院の先生からの紹介による患者さんの受診の予約をします。待ち時間の短縮などのメリットがあります。ぜひ、地域連携科をご利用ください。

